

## 介護保険対象外の介護機器を、介護保険と同じ1割負担で 市民へ貸与！

岡山市



【おだやかタイム（コントロールBOXとセンサーマット）】

### 総合特区最先端介護機器貸与モデル事業

高齢者が、介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らしていけるよう、本市では介護保険の対象になっていない最先端介護機器も、市が公募により選定したものについては、介護保険と同じ1割の利用料で貸与しています。これが「総合特区最先端介護機器貸与モデル事業」です。

対象者は、本市の介護保険被保険者の方で、在宅で生活されている方です（機器によって要介護度の要件があります）。現在、移動支援機器やコミュニケーションロボット等、6分野11機器を貸し出しており、平成26年2月の事業開始から、累計で約450名の方が利用されています。

### 見守り支援機器の役割・効果

この「総合特区最先端介護機器貸与モデル事業」の対象の1つに「見守り支援」という分野で「おだやかタイム」があります。

この機器は、要介護者の状態（心拍、呼吸、睡眠、離床等）の情報をスマートフォン等の通信端末で確認することができ、また異常を感知した際には、事前に登録した連絡先にメールで連絡が行きます。これらの機能により、以下のようなケースに効果が期待できます。

#### ① 要介護者の方とご家族が同居して介護されている場合

夜間に何度も部屋を確認しに行っていたご家族が、手元のスマートフォン等で着床等を確認できるようになり、負担が軽減されます。また、出勤等による昼間の外出中にも、常に状況が確認

でき、安心して過ごすことができます。

#### ② 別居して介護されている場合

転倒等による緊急時に、異常を感知した本機器がご家族にメールで連絡してくれます。また、要介護者自身も、マットを複数回叩くことにより、緊急のメールを送信することができます。これらにより、ご家族及び要介護者の心理的負担の軽減に繋がります。

また、利用者の方からは、「これまで1人で介護していたが、機器の導入により、遠方の家族も介護に参加してくれて、負担の集中感が軽減され、精神的に楽になった」との声もありました。

### 今後について

本市が目指す「高齢者の在宅生活の支援」のためには、こういった見守りの支援が必須だと考えています。本市では、こうした機器の利用実績を国に継続的に報告し、将来的には介護保険の対象として全国で広く活用されることを目指しています。

現在の貸与実績は累計で約25名ですが、今後より多くの方にご利用いただき、介護負担の軽減を感じていただくため、更なるPRに努め、実績を重ねていきたいと考えています。



【スマートフォンに表示される画面】

### お問合せ先

【事業者名/自治体名/社名/団体名】  
岡山市

【住所】 〒700-8546  
岡山県岡山市北区鹿田町一丁目1番1号

### 【担当所属・氏名】

医療政策推進課医療福祉戦略室  
粕山/日下

【電話番号】 086-803-1638

【E-mail】 iryou-s@city.okayama.jp